

観光創造専攻

平成26年度
後期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1,000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配付されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1,600～2,000字の日本語（横書き）で回答しなさい。
なお、適当な位置で改行して段落に分けること。また字数は改行による空白を含めて計算する。

あなたは、登山やトレッキングなど、自然体験を楽しむ行為を「文化観光 (cultural tourism)」と呼ぶことができると考えますか。はじめに、「できる」、「できない」、あるいは「場合によって可能」など、あなたの意見・考えを明記したうえで、その理由について、具体的論拠を挙げつつ論理的に説明しなさい。なお、本文中では、「文化」という語を、単に既存の学術的定義を引用するだけでなく、あなた自身の考え・言葉を用いて明確に定義すること。